

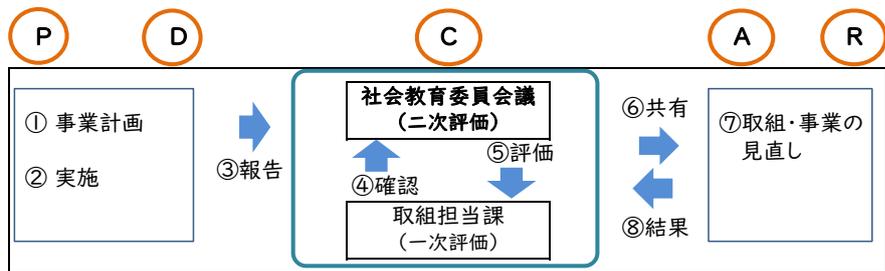
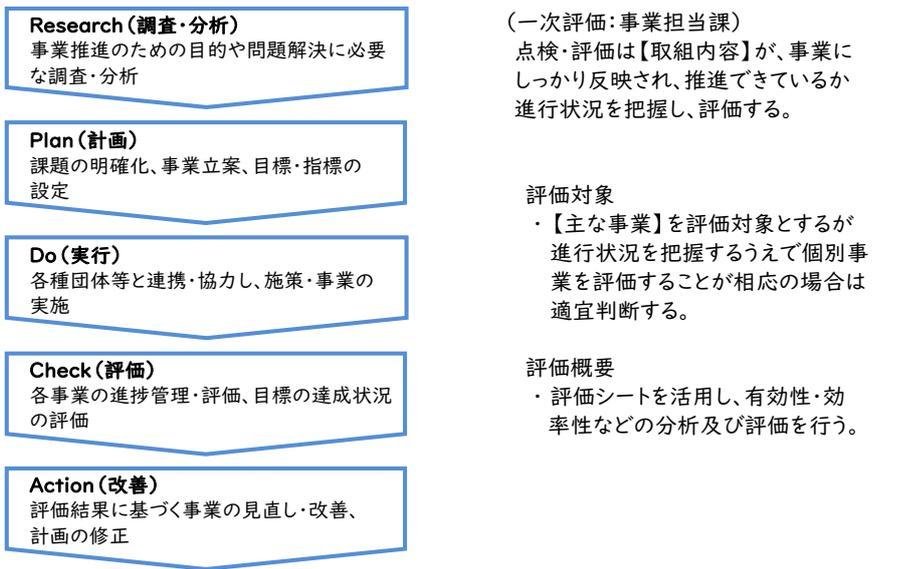
第3期野州市生涯学習振興計画の進行管理について

本計画を推進するにあたっては、第4章に掲げた3つの方針とその施策に沿って取組を進め、事業を実施しますが、より実効性のある計画推進のためには、計画期間中の年度ごとに振り返り、計画的に推進されているかチェックし、客観的な評価・検証を行い、その結果をその後の施策に活かしていく必要があります。

1 進行管理(点検・評価)の目的

施策に基づく事業の実施状況を把握し、成果指標の達成度と効果について検証および評価を行うことで、計画の進捗状況を確認するとともに、必要に応じて取組手段や事業内容の改善を促し、計画の推進を図ります。

2 点検・評価の概要



主な事業の評価 (一次評価:事業担当課及び事務局)

ア 評価対象

主な事業を基本とし、個別事業を評価することが取組の推進に作用する場合は個別事業を含めて評価する(主な事業)

イ 評価概要

事業内容や実施手法を詳細に分析し、基本方針・施策に対する有効性等の評価を行う。

3 点検・評価の実施方法

- (1) 個別事業評価
事務事業評価シートに基づき、俯瞰的な意見を聴取する。
- (2) 重点事業評価
主な事業を焦点化し、重点事業とする。その事業は社会教育委員会で二次評価する。
- (3) 施策評価
主な事業、個別事業の評価を踏まえ、施策評価として総括する。

第3期生涯学習振興計画取組事業 評価対象一覧

		取組内容	事業名	所管課
基本方針Ⅰ 学ぶ	施策1 生涯学習推進体制の整備	① 学習情報・機会の充実	生涯学習講座（生涯学習カレッジ、生涯学習出前講座）	生涯学習課
		① 学習情報・機会の充実	市民協働事業（市民活動支援）	市民協働室
		② 社会教育関係団体の支援	・社会教育関係団体への補助金交付による活動支援 ・社会教育関係団体の自立化に向けての指導、助言	文化スポーツ振興課
		③ 人権教育・啓発の推進	・男女共同参画フォーラム ・市民のつどい ・同和問題講演会	人権施策推進課
		④ 歴史文化の適切な継承とまちづくりの活用	・史跡永原御殿跡の保存整備と公開活用 ・桜生史跡公園甲山・円山古墳の石室特別公開	文化財保護課
	施策2 自己学習機会の充実のため	① 文化芸術・スポーツ活動の推進	・美術展覧会 ・文化芸術祭 ・各種スポーツ教室 ・ニュースポーツバイキング（希望が丘文化公園と連携） ・ストックウォーキング（希望が丘文化公園と連携） ・マリンスポーツフェスティバル ・春季・秋季スポーツ大会	文化スポーツ振興課
		② 情報提供の体制整備	市民活動に係る促進及び市民活動団体支援事業	市民協働室
	施策3 社会教育施設等の整備と	① 市立図書館の利用促進	・図書館資料の充実 ・市民の学習や調査研究等の支援 ・館内おはなし会 ・学校・園への支援（としょかんBOX巡回、絵本セット巡回、ブックトーク等）	図書館
		② 文化施設の整備と充実	・多種多様なジャンルの鑑賞型事業 ・文化・芸術等の教室の開催	文化ホール
		③ コミュニティセンターの活用	交流と活動拠点の整備・充実	協働推進課
		④ 歴史民俗博物館の利用促進	・展覧会やテーマ展、講演会・講座の開催 ・弥生の森体験学習	歴史民俗博物館

第3期生涯学習振興計画取組事業 評価対象一覧

		取組内容	事業名	所管課
基本方針2	施策に 編成 対応 した 技術 教育 の展 望	① 対面とオンラインを組合せた学習機会の充実	生涯学習講座	生涯学習課
		② グローバル化に対応するための学び	・小中学校での英語（英語活動）授業の支援 ・国際協会との連携（国際理解講座）	学務課
		③ 実践とICTを最適に組み合わせた学校教育	・高機能ICTルーム移行への取組 ・GIGAスクール構想	学務課
活かす	習代 に人 応生 じた1 た0 生0 涯年 学時	① リカレント教育の推進	・大学連携事業（びわこ学院大学等） ・企業・多機関との連携	生涯学習課
		② 子ども・若者の地域・社会への主体的な参画と多世代交流の推進	・キャリア教育の促進 ・サービスラーニング ・子どもの職場体験（中学生社会体験チャレンジ事業）	学務課
		③ 学校教育・社会教育との連携・協働	コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）と 地域学校協働活動	生涯学習課

第3期生涯学習振興計画取組事業 評価対象一覧

		取組内容	事業名	所管課
基本方針3 ひろげる	施策1 人をつなぐ生涯学習	① 学校・家庭・地域の連携	・地域学校協働活動推進事業 ・おやこサポーター（家庭教育支援事業） ・地域未来塾	生涯学習課
		① 学校・家庭・地域の連携	ブックスタート事業	図書館
		② 青少年育成市民会議の運営	・はつらつ野洲っ子育成事業（中学生広場・青少年育成フォーラム） ・初発型非行防止活動（愛の声かけ運動・愛のパトロール）	生涯学習課
		③ 社会教育主事・社会教育士の活用	・地域活動団体への支援・育成 ・各種講習会や研究会の企画・助言 ・活動に参画する地域の人材の確保・育成	生涯学習課
	施策2 社会参加の機会の充実	① ボランティア活動の促進	・社会福祉協議会との連携 ・地域の活動と地域の人とをつなげるコーディネーターの発掘と養成 ・地域活動についての情報交換できるサロン等の場の提供	生涯学習課 市民協働室
		② 学んだことを活かす仕組みの構築	・キャリアパスポート（様々な学習活動とともに職業経験・地域活動等の社会的活動を記載）の作成と活用 ・学校、大学等と連携した地域参加活動の実施 ・放課後子ども教室 ・部活動の地域移行	学務課 生涯学習課
		③ 市民が互いに学びあう仕組みづくり	・生涯学習講座等における市民講師の派遣 ・生涯学習カレッジ実行委員会（市民主体の会議の開催）	生涯学習課
	施策3 社会教育施設等の整備と充実	① 将来の地域を担う子どもたちの育成	・コミュニティ・スクールと地域ネットワークの構築 ・地域子育て支援事業 ・文化芸術・伝統芸能の振興と継承	生涯学習課 文化スポーツ振興課
		② 地域活動でつながる地域住民	・学校施設の活用と異世代の交流促進 ・子どもの居場所づくり事業 ・地域防災訓練	学務課 生涯学習課
		③ 「新しい公共」を支える人材育成	・地域の産学連携の推進 ・地域の高校活性化支援事業	生涯学習課

第3期生涯学習振興計画評価シート

基本方針		
施策		
取組内容		

計画 (Plan)			
事業名	【取組内容】	《事業名》	
所管部課			
事業区分	<input type="checkbox"/> 行政事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	法定上の位置づけ	
目的 (何をどうしたいのか)			
対象 (誰・何を)			
事業内容			
目標	指標名	年度	
	現状値	令和6年度	令和7年度

実行 (Do)			
評価時点での現状			
実施方法	<input type="checkbox"/> すべて直接実施 <input type="checkbox"/> 左記以外		
	<input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理	委託先又は指定管理者	
	<input type="checkbox"/> 補助金	補助先	
	<input type="checkbox"/> その他	内容	
成果があったこと			
まだ残っている課題			

評価 (Check)

進捗状況	<input type="checkbox"/> 計画どおり <input type="checkbox"/> 概ね計画どおり <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗せず	左記判断理由	
有効性			
効率性			
施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> ・施策への貢献度 ・目標達成度 ・市民サービスへの効果など 		



今後の取組 (Action)	方向性



調査・分析 (Research)

事業推進のための目的や問題解決に必要な調査・分析
(社会教育委員会議での議案事項とする)

第3期生涯学習振興計画評価シート

基本方針		【学ぶ】 ～すべての市民が生涯にわたって学ぶことができるよう支援します～
施策		生涯学習推進体制の整備
取組内容	① 学習情報・機会の充実 ・多様化する市民の生活スタイルにおいて、学ぶ時間の制約・学ぶ動機が様々ある中、市民が活力と生きがいを感じられるような学習機会が必要です。 個人の学習レベルや学習環境に応じた学習の場の提供に努めます。	

計画 (Plan)

事業名	【取組内容】 ① 学習情報・機会の充実	《事業名》 生涯学習講座	
所管部課	教育委員会事務局	生涯学習課	
事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 行政事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	法定上の位置づけ	義務づけ規定がある (教育基本法第3条)
目的 (何をどうしたいのか)	子どもから高齢者まで幅広い年代の市民に、生涯学習の機会を提供することで自発的な活動を促すとともに、地域などでその学習成果を活かせる仕組みづくりに取り組む。		
対象 (誰・何を)	学習の機会を求める市民		
事業内容	・生涯学習を推進するため、学習の場の提供に努める。また学習成果を生かせる仕組みづくりを行うとともに、推進する担い手の養成にも努める。 ・市民等の学習要望に対し、庁内関係所属や各関係団体等と連携し、出前講座の充実を図る。		
目標	指標名	年度	
		現状値	令和6年度
	令和7年度		
	生涯学習カレッジ参加者数(5講座)	156	
	出前講座申込数	52	

実行 (Do)

評価時点での現状	・市民で組織するカレッジ実行委員会のメンバーが各回の講師となって年5回生涯学習カレッジを開催し、それぞれが活動する内容を題材にして市民への学習の場を提供している。 ・毎年、市民に向けて市職員や関係機関等が地域に出向き、市民が知りたい、学習したい要望の内容に応じた出前講座を開催している。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> すべて直接実施		<input type="checkbox"/> 左記以外
	<input type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	委託先又は指定管理者
	<input type="checkbox"/> 補助金	補助先	
	<input type="checkbox"/> その他	内容	
成果があったこと	生涯学習カレッジ実行委員である市民が主体となって実施するカレッジの内容を検討・発案し、年間計画の策定に携わることはもとより、カレッジの実施運営を行うことで、市民主役の生涯学習機会の提供の仕組みづくりができつつある。		
まだ残っている課題	生涯学習を、学ぶ人自身の個人としての生きがいとするだけでなく、生涯学習の活性化のためには学習の成果を活用する機会や場の整備が必要である。		

評価 (Check)

進捗状況	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり <input type="checkbox"/> 概ね計画どおり <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗せず	左記 判断 理由	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習カレッジは年間計画どおり実施し、市民への生涯学習機会の提供に努めることができました。 ・出前講座は、一部出前講座の実施基準に沿わないものを除き、年間メニューの中から市民等が要望する内容を関係課に繋ぎ、実施することができました。
有効性	<p>関係機関や市民活動団体と共に事業を実施することは、市民目線での考え方や企画・運営に反映できるので、市民ニーズに沿った生涯学習の推進に効果がある。</p>		
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の実施に当たっては、市民と行政との役割分担をしっかりと定め、効率良く実施できるように、さらに精査する必要がある。 ・前年を踏襲するのではなく、講座の申し込み状況に応じて講座の存続について見直しを行う。 		
施策への 貢献度	<ul style="list-style-type: none"> ・施策への貢献度 ・目標達成度 ・市民サービスへの効果など 	<p>生涯学習講座の開催は、本市の教育大綱や教育振興基本計画の基本目標である「だれでもどこでも学びあえるまちをつくります」を実現するために必要な事業であり、教育基本法第3条にある教育の機会均等に繋がる。</p>	



今後の取組 (Action)	方向性
<p>子どもから高齢者まであらゆる年代を対象とした様々な講座の開催による継続した市民への生涯学習機会の提供に努める。 また、専門的で高度な学習を求める市民のニーズにも応えるよう努めていく必要がある。</p>	現状維持



調査・分析 (Research)	
事業推進のための目的や問題解決に必要な調査・分析	
<p>※ (社会教育委員会議での議案事項とする)</p>	